

2011年 第2回インターナショナルジュニアゴルフツアー主催 静岡大会

大会要項

開催日： 2011年8月30日（中学生の部）、8月31日（高校生の部）

開催コース： リバー富士カントリー倶楽部

住所：〒421-3301 静岡県富士市北松野 4222-10

電話：0545-85-3375

競技の条件

日本ゴルフ協会規則とこの競技のローカルルールを適用する

協議委員会の裁定

協議委員会は協議の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

競技方法

各部門18ホールストロークプレー、セルフプレー（手引きカート使用可）で競技する。

タイの決定

1位のみサドンデスのプレーオフにて決定し、2位以降はカウントバックにて決定する。高校生は18番から、中学生は最終ホールからのカウントバックにて決定する。

使用ティー

中学男子：白マーク（6000Y相当） 中学女子：赤マーク（5500Y相当）

高校男子：青マーク（6500Y相当） 高校女子：白マーク（6000Y相当）

使用球の規格

競技者の使用球はR&A発行の（USGA版）最新公認球リスト（JGAHP:jga.or.jp）に記載されているものでなければならぬ。この条件違反の罰や処置は「ゴルフ規則付I（c）1b」を適用する。

使用クラブ

競技者が持ち込むドライバーはR&Aによって発行されている最新の適合ドライバーヘッドリスト（モデルとロフトで認識される）上に掲載されるクラブヘッドを持つものでなければならぬ。

競技終了時点

本競技は競技委員長の成績発表がなされた時点を持って終了したものとみなす。

ホールとホール間の練習禁止(規定7注2)

競技者はプレーを終えたばかりのパティンンググリーン上や、その近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによってプレーを終えたばかりのパティンンググリーン面をテストしてはならない。この条件の違反罰は、次のホールに2打罰。正規のラウンドの最終ホールで違反があった場合は、そのホールに対して罰を受ける。但しハーフターンの時の指定練習グリーンによるパティンング練習のみ許可する。

スタート時間

ゴルフ規則33-7に規定するような競技規則の罰を免除する正当な事情がないときには、競技者自分のスタート時刻後5分以内にプレーできる状態でスタート時点に到着したときには、遅刻の罰は最初のホールで2打、なお、5分を超える遅刻に対する罰は競技失格とする。

当日、キャンセル発生などにより多少スタート時間が変更になる可能性があります。その際には本人に了解を得た上で対応して頂く場合があります。

プレイ

9ホールの後に休憩がはいります。スループレイではありませんので9ホール後にスタート時間をキャディーマスター室にてご確認ください。

セルフプレーに関して

競技中はキャディの帯同は認めない、アドバイスを受けることもできない。但しアドバイス以外の誰もが知りえることは同伴競技者や競技委員に聞くことができる。(ルール、距離確認など) プレイヤー自身でディボット埋めやバンカーを均し、ボールマークの修復を行うこと。

遅延プレーについて

タイムキーパーを設定し、プレーを不当に遅延した場合は2打罰を課す。(対象組全員、または個人)プレー進行留意し、先行組との間隔を不当に空けないように注意のこと。当日は一般組も来場するため、プレー進行には特に留意してください。

距離測定機について

この競技において距離測定器の使用は認めますが、高低差などの機能を持つ測定器の使用は禁止いたします。この項目の違反は競技失格となる。

表彰式について

表彰式は最終組の集計が終わり次第行います。表彰式には全員参加をお願い致します。

入賞者

今大会で各部門3名が12月にタイランドにて行われるアジア大会への出場権を獲得する。

* 天候、情勢問題により日程変更が生じた場合には翌年5月フロリダオーランドにて行われる世界大会に自動的に権利が昇格する

ローカルルール

- 1 アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 2 修理地は青杭と白線で表記されている。白線をもってその境界を標示する。
- 3 コース内の全ての水際はラテラルウォーターハザードとし、その境界赤杭または赤線をもって境界を標示する。杭と線が併用されている場合は線がその境界を標示する。
- 4 排水溝は動かさない障害物とする
- 5 人口の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とする
- 6 樹木保護の支柱や視線は動かさない障害物とする。ゴルフ規則24-2によって救済が受けられる。
- 7 グリーン上にボールがある時には使用クラブはパターに限定する

注意事項

- 1 競技の変更やローカルルールの追加、変更がある時には掲示ボードにて告知する
- 2 グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とする
- 3 スタート前の練習は一人1コインとする(24球)
- 4 コース内には携帯電話を持ち込まないこと
- 5 クラブハウスへの入場の際には必ずジャケット、ブレザー、学生服を着用すること
- 6 目土袋、グリーンフォークは各選手が自身で携帯しディボット跡の埋めを行うこと

指定ドロップ区域(注)

競技者が指定ドロップ区域を使用することを選んだ場合、ドロップや再ドロップについて次の規制を受ける。

- (a) 球をドロップする際に、競技者は必ずしも「指定ドロップ区域」内に立ってドロップする必要はない
- (b) ドロップしたボールは必ず「指定ドロップ区域」内のコース上に最初の落ちなければならない
- (c) 指定ドロップ区域を表記する白線は「指定ドロップ区域」とする
- (d) ドロップした球は必ずしも「ドロップ区域内」に止まらなくてもよい
- (e) ドロップした球が
 - 1) ハザード内に転がり込んだ時
 - 2) グリーン上に転がり込んだ時
 - 3) アウトオブバウンズに転がり込んだ時
 - 4) ドロップした際にボールがコース上に落ちた個所から2クラブレングス以上転がってしまった時、には再ドロップしなければならない。
- (f) ドロップしたボールが「指定ドロップ区域」内のコース上に最初に落ちた個所から2クラブレングス以内のところに止まり、しかも前期(e)でとりあげたどの場合にも属さない時には、ドロップしたボールが転がって

行ってホールに近づいてもよい

(g)前期の (e) と (f)の条件を満たしていればドロップしたボールが転がって行って元の位置やその推定位置よりもホールに近づいて止まってもよい。

追加事項(2011/8/24)

- a. 電磁誘導乗用カートの専用走行レーン（軌道内が芝生になっている場所）は全幅をもってプレー禁止とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合にはゴルフ規則 ~~24b0~~の救済を受けなければならない。
- b. クローズド(CLOSED)の表示のある予備グリーンはプレー禁止の修理地(スルーザグリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、プレーヤーはゴルフ規則 ~~251b0~~を適用しなければならない。

競技委員長 相澤 達也
I J G T 松本 進